

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 エコミック  
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 熊谷 浩二  
 (氏名) 上諏訪 広

TEL 011-742-6295

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	195	17.2	△0	—	1	—	0	—
23年3月期第2四半期	166	△0.1	△8	—	△7	—	△5	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	167.97	160.97
23年3月期第2四半期	△1,701.07	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	386	364	94.4	107,931.05
23年3月期	400	371	92.6	109,807.10

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 364百万円 23年3月期 371百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	520	11.5	52	74.0	52	61.1	29	△9.1	8,582.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	3,379 株	23年3月期	3,379 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	3,379 株	23年3月期2Q	3,359 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にある中、国内企業の生産及び輸出がサプライチェーンの立て直しを受けたこと等を背景に、持ち直している状況にあります。しかしながら、電力供給の制約や原子力災害等の影響、さらには、海外景気の下振れや為替レート・株価の変動等によっては、景気が下振れするリスクが存在し、先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、このような景気の不透明感を背景に、依然として企業の効率化、省力化への動向は継続しており、今後、事業再構築の手段として、または災害等のリスク回避の手段としてアウトソーシングのニーズはより一層高まっていくと考えております。

そこで当社は、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業内からの個人情報漏洩への対策等企業リスクの観点から、給与計算アウトソーシングの提案を行ってまいりました。同時に給与計算に付随するシステム開発という付加価値サービスの提案を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績については、売上高は195,397千円（前年同期比17.2%増）、営業損失は318千円（前年同期は営業損失8,965千円）、経常利益は1,713千円（前年同期は経常損失7,142千円）、税引前四半期純利益は1,713千円（前年同期は税引前四半期純損失9,333千円）及び四半期純利益は567千円（前年同期は四半期純損失5,713千円）となりました。

事業の種類別の業績は次のとおりであります。

ペイロール事業においては、このような厳しい経営環境の中、前事業年度から引き続きホームページへのアクセス件数や資料請求件数等の増加を目的にWEB上への広告出稿を行うなど、積極的な営業活動に取り組んでまいりました。その結果、月例給与計算業務については、新規顧客36社の獲得により前年同期に比べ処理人数は13.2%増加いたしました。

以上の結果、ペイロール事業の売上高は195,397千円（前年同期比17.2%増）となりました。

賃金コンサルティング事業においては、当第2四半期累計期間において取引は発生しておりませんが、今後、給与計算業務及び総務・人事関連業務に関するノウハウをより一層高め、顧客企業に対し高品質なコンサルティングを提供していく方針であります。

### （2）財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

当第2四半期会計期間末における流動資産は351,624千円となり、前事業年度末に比べ14,028千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が16,348千円減少したことによるものであります。固定資産は34,807千円となり、前事業年度末に比べ113千円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1,595千円増加した一方、無形固定資産が1,560千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は386,431千円となり、前事業年度末に比べ14,142千円減少いたしました。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末における流動負債は21,732千円となり、前事業年度末に比べ7,803千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が10,521千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、21,732千円となり、前事業年度末に比べ7,803千円減少いたしました。

#### （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産合計は364,699千円となり、前事業年度末に比べ6,339千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が6,190千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は94.4%（前事業年度末は92.6%）となりました。

### （3）業績予想に関する定性的情報

本日（平成23年10月28日）「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、平成24年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたしました。

なお、平成24年3月期通期の業績予想につきましては、平成23年5月2日の「平成23年3月期決算短信（非連結）」で公表いたしました業績予想から変更はありません。当該業績予想に修正の必要が生じる場合には、速やかに公表いたします。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	327,231	310,882
売掛金	35,931	35,981
繰延税金資産	1,085	1,085
その他	1,569	3,797
貸倒引当金	△166	△123
流動資産合計	365,652	351,624
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	7,427	9,150
その他（純額）	4,008	3,880
有形固定資産合計	11,436	13,031
無形固定資産		
ソフトウェア	10,007	8,446
無形固定資産合計	10,007	8,446
投資その他の資産		
投資有価証券	8,972	8,723
その他	4,504	4,605
投資その他の資産合計	13,477	13,328
固定資産合計	34,921	34,807
資産合計	400,573	386,431
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,297	6,203
未払金	3,093	3,582
未払法人税等	12,377	1,855
その他	8,766	10,090
流動負債合計	29,535	21,732
負債合計	29,535	21,732
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	215,570	215,570
資本剰余金	61,810	61,810
利益剰余金	93,753	87,563
株主資本合計	371,133	364,943
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△95	△244
評価・換算差額等合計	△95	△244
純資産合計	371,038	364,699
負債純資産合計	400,573	386,431

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
売上高	166,750	195,397
売上原価	107,442	123,146
売上総利益	59,308	72,251
販売費及び一般管理費	68,274	72,569
営業損失（△）	△8,965	△318
営業外収益		
受取利息	100	102
助成金収入	1,505	1,267
その他	218	662
営業外収益合計	1,823	2,031
経常利益又は経常損失（△）	△7,142	1,713
特別損失		
訴訟関連損失	1,341	—
その他	849	—
特別損失合計	2,191	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△9,333	1,713
法人税等	△3,619	1,145
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△5,713	567

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△9,333	1,713
減価償却費	5,443	4,436
売上債権の増減額（△は増加）	2,774	△49
営業債務の増減額（△は減少）	640	905
未払金の増減額（△は減少）	1,489	190
未払費用の増減額（△は減少）	1,059	744
未払消費税等の増減額（△は減少）	△3,100	82
その他	△1,671	△2,055
小計	△2,699	5,966
利息及び配当金の受取額	117	118
法人税等の支払額	△1,637	△11,504
その他	—	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,218	△5,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,344	△4,172
無形固定資産の取得による支出	△6,427	—
敷金及び保証金の差入による支出	△37	—
敷金及び保証金の回収による収入	975	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,833	△4,172
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△6,720	△6,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,720	△6,781
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△19,772	△16,348
現金及び現金同等物の期首残高	285,381	327,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	265,609	310,882



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。